

## 「市民会議準備会」の開催結果報告

### 1. 実施概要

当日の実施概要を以下に示します。

#### (1) 実施概要

実施日時：平成22年7月24日(土)  
9:30～11:30

会場：岡崎市民会館

参加者：31名(事務局含まず)

傍聴者：1名

#### (2) 内容

##### 【テーマ】

- ・ 矢作川流域圏懇談会の運営方針の確認
- ・ 矢作川流域圏の課題の共有

##### 【プログラム】

- ・ 開会、挨拶
- ・ 矢作川流域圏懇談会について
- ・ 市民会議(運営方法)について(案)
- ・ 矢作川流域圏の課題(案)について
- ・ その他
- ・ 閉会



会場全体の様子



意見交換の様子



意見交換の様子



意見交換の様子

## (3)参加者出欠

	所 属 等	役 職	氏 名	出席は
個人	個人	豊田市 在住	小川 明	
	個人	岡崎市 在住	畔柳 剛	
	個人	刈谷市 在住	篠原 敏典	
	個人	岡崎市 在住	菅原 正	
	個人	西尾市 在住	田中 一弘	
	個人	豊田市 在住	丹羽 八十	
	個人	西尾市 在住	長谷 輝夫	
	個人	岡崎市 在住	本多 秀行	
市民団体	BIOdeBIO	代表理事	黒田 武儀	
		山と農と水事業部担当役員	尾形 修治	
	アド清流愛護会	会長	倉地 格	
	伊勢・三河湾流域ネットワーク	共同代表世話人	井上 祥一郎	
		世話人	松井 賢子	
	奥矢作森林塾	理事長	大島 光利	
	乙川を美しくする会	会 長	柴田 辰夫	
	上矢作ダム問題連絡協議会	会長	畑村 眞吾	
	上矢作町自治連合会	会長	菱川 和之	
	加茂川を美しくする会	会長	吉田 武房	
	中部森林開発研究会	事務局	丹羽 庸介	
	鳥川ホタル保存会	会長	今泉 清	
	豊田市自然愛護協会	会長	光岡 金光	
	豊田市親王町自治会	自治会長	市川 俊策	
	西三河野鳥の会	会長	浅井 光	
		事務局	高橋 伸夫	
	早川をよみがえらせる会	代表	篠原 正樹	
	三河湾浄化市民塾	事務局長	榊原 和久	
	水と緑を守る会・岡崎	代表	沖 章枝	
	森を再生する会	会長	神谷 輝幸	
	矢作川「川会議」	代表	碓 さくら	
	矢作川学校	校長(矢作川研究所長)	柴田 一美	
		事務局(矢作川研究所事務局長)	内田 良平	
	矢作川環境技術研究会	事務局	星野 智司	
	矢作川源流の森ねば	理事	三浦 利一	
	矢作川森林塾	理事長	碓 伸夫	
	矢作川水系森林ボランティア協会	評議員	西川 早人	
	矢作川水族館	館長	阿部 夏丸	
	矢作川治水水史研究会	代表幹事	小澤 祐治	
		幹事	小野田 正義	
	矢作川天然アコ調査会	副会長	新見 克也	
	矢作川をきれいにする会	会長	鈴木 陽子	
矢作水源フォレストランド協議会	会長	荒田 雅晴		
矢作古川を美しくする会	会長	市川 栄一		

## 2. 主な意見と対応

市民会議準備会の議事概要のうち、今後の検討等が必要と思われる意見とその対応は以下に示すとおり。

質問および意見	準備会での回答	現時点の対応
<p>・市民会議の参加者は、施策の中にどのように反映できるのか、また流域圏全体をとらえるような法制度が制定されるようになるのかなど期待を持っているが、それが見える化という言葉でまとまっており、見えるようにしてどうするのが不明である。</p>	<p>・「見える化」とは、流域圏の山・川・海に関わる課題を掘り下げ、問題点を「見える化」とするとともに、どのような対策が考えられるのか、また、対策にあたりどのような課題があるのかを「見える化」することです。</p> <p>これにより、効果的・効率的な流域圏一体の取り組みの推進に、すなわち、参加者の皆さんのネットワーク化や情報共有および、積極的な意見交換につなげたいと考えています。</p>	<p>・同左です。</p>
<p>・1年に1~2回しか会議を開催しないと、全員の人が自分の思いや日頃の活動を踏まえて、つぶさに報告をしたり検討したりする機会が少ないと思う。</p>	<p>・会議の回数等は、今後この形態でどうですかという形で事務局のたたき台の案をお示ししている段階です。</p> <p>そのため、運営については市民の皆さんが主役で進めていただくこととなりますが、どのような運営の仕方をしていくのか、今後、議論して決めていただきたいと思います。</p>	<p>・同左です。なお、別途、「資料2:「矢作川流域圏懇談会」について」の検討体制(P.5)に示させていただいたとおり、皆さんのご意見によっては、勉強会なども必要に応じて開催することも視野に入れております。</p>
<p>・ホームページを開設する場合は、豊橋河川事務所のホームページ内ではなく独立させてほしい。</p>	<p>・事務局としても、独立したホームページの立ち上げを考えておりましたが、セキュリティーの問題もあり、単体で設けるのが難しい状況です。</p> <p>ただ、豊橋河川事務所のホームページであれば、基本的には独立したホームページと同じような形態をとることが可能なため、検討しています。</p>	<p>・同左の内容で9月中には実施できる見込みです。</p>

質問および意見	準備会での回答	現時点の対応
<p>・メーリングリストを作成し、市民がそのメーリングリストを活用して自由に意見交換ができるようにしてほしい。</p> <p>また、ここにいる者でなければ参加ができないものでもなくて、開かれたメーリングリストとしてほしい。</p>	<p>・メーリングリストは、セキュリティの関係で難しいですが、実施する方向で検討中です。</p> <p>ただし、登録された以外の方が参加するというのは、セキュリティの関係で難しいです。</p> <p>意見を入れると、それが登録された方に配信されて、またそれに対して意見を言う、そして情報を流すといったメーリングリストは実施したいと思っています。</p>	<p>・登録されたメンバーを対象としたメーリングリストとし、送信されたメールをメンバー全員に配信できるような内容で10月を目途に実施できる見込みです。</p>
<p>・市民の立場として会議に参加する意味があるのか若干不安を持っている。これまでの懇談会が大体そうだったが、市民の意見を聞くだけの形式に終わることはないか不安である。そのため、言葉で保障していただくより、組織的に保障していただくことが必要だと感じる。</p>	<p>・市民の皆さんの意見を必ず実現できるように担保するといったことに対しては確約できません。</p> <p>ただし、今までのルールや仕組みなど変える努力を行政としてもするために会議を開催していますので、アライバイ工作のために市民を集めているわけではないことをご理解下さい。</p>	<p>・同左どおり、真摯に対応させていただきます。</p>
<p>・市民会議は、市民が自主的に運営することのことだが、会議で決定したことは、事務局が支援してくれるのか。</p> <p>例えば、メーリングリストを作るとなった場合、管理者は事務局が担ってくれるのか。</p>	<p>・事務局の支援については、発生する費用によって支援内容が変わるので、今後相談させて下さい。</p> <p>メーリングリストは、市民、学識者、行政が一堂に会したメーリングリストとして有効活用していただければと考えています。</p>	<p>・同左です。</p>
<p>・行政が、ある判断基準のもとに市民会議で検討するテーマを設定しているが、設立総会の際に既に課題が仕分けられているというやり方はいかがなものか。</p> <p>本来は、仕分ける基準、考え方を市民の中で決めるべきではないか。</p>	<p>・提示した課題は、河川整備計画策定までにいろいろ検討してきたものを整理し、議論するためのたたき台として出しています。今後、皆様に議論していただければと考えています。</p>	<p>・同左です。</p>

質問および意見	準備会での回答	現時点の対応
<p>・課題（案）について、実際には問題点になっていないものも入っている。</p> <p>自分が課題と思っていることとそれが一緒なのかどうか判断できないので、何が困ったことなのかが明確になるような資料をいただきたい。</p>	<p>（会議での回答はなし）</p>	<p>・「資料 4：矢作川流域圏における課題（案）」の P.12 以降に「委員会等の意見」として、問題点等の根拠となった意見を示しました。</p>
<p>・市民会議のメンバーが各部会にすべて入るとなると、単純に参加者が3倍になるが、設立総会後に改めてメンバー構成を見直すのか。そうであれば、募集をかけるタイミングはいつごろなのか。</p>	<p>・参加者の皆さまから、所属したい部会の希望をお聞きし、メンバーを構成していく予定です。</p>	<p>・参加者から参加希望の部会をお聞きし、「資料 2：矢作川流域圏懇談会について」の矢作川流域圏懇談会構成メンバー（案）（P.13-16）を示しました。</p>

### 3. 第1回市民会議の立ち上げのための座長・副座長について

#### (1) 市民会議暫定座長・副座長の決定

第1回市民会議の立ち上げのために、山・川・海の地域部会を考慮し、暫定の座長・副座長として以下の3名を選定し、了承を得ました。この3名の中から暫定座長1名、暫定副座長2名とし、後日、3名で暫定座長を決定していただくことを決めました。第1回市民会議にむけ、事務局と調整を行い、開催を暫定座長が招集するものとししました。

- ・山部会：矢作川水系森林ボランティア協議会 副代表 稲垣 久義氏
- ・川部会：矢作川「川会議」 代表 裕 さくら氏
- ・海部会：伊勢・三河湾流域ネットワーク 代表世話人 井上 祥一郎氏

#### (2) 暫定座長の決定

平成22年8月23日、豊田市職員会館において、暫定座長・副座長の3名と事務局により、今後の調整会議を実施し、下記の通り暫定座長を決定しました。

- ・暫定座長：矢作川「川会議」 代表 裕 さくら氏

#### 4. 振り返りシートの主な意見

市民会議準備会の参加者に当日の会議を振り返っていただき、「よかったと思うこと」、「よくなかったと思うこと」、「これからの進め方への提案」について回答していただいた内容を以下に整理しました。

##### よかったと思うこと

- ・ 会議時間帯が午前中だった事。
- ・ 休日に開催した事。
- ・ 流域圏の内容等について初めての参加であり、勉強になりました。
- ・ 矢作川流域圏で活動している団体が集まったこと。
- ・ 矢作川のために日頃活動している団体と初めて一同で集まることができた事。
- ・ 市民の方の話しが聞けてよかった。
- ・ 意見を切らなかつたこと。
- ・ 参加市民団体の顔ぶれと、考え方が理解できた事。
- ・ いろいろな活動団体の意見を聞けること。
- ・ 多くの参加者の発言があつたこと。
- ・ 本音の意見が多かつたので、参加者の本会に対する期待感が伝わってきた。
- ・ 第1回目の会議でしたが、多くの意見を聞く事ができ、形だけの懇談会にはならないだろうと期待が持てる。
- ・ 真剣な活動振りが実感できた。
- ・ 全体構想が見えてきた。
- ・ 流域という考え方で進めること。
- ・ 「懇談会」ができるであろうこと。
- ・ とにかくスタートすることと考へます。課題は多く頭が痛むことと思ひますが、気持ちを萎えさせないで行動していただきたいものです。
- ・ 内容はこれからのこととして、行政の前向きな取り組み姿勢を感じ取ることができた。これからも、形だけの実績づくりにならないよう、期待している。
- ・ 矢作川流域圏にかかわる様々な団体があることがよくわかりました。各団体との相互連携は活動内容の発展に重要であることはわかつていても、その存在すらわからない場合が多いものです。行政的な立場でこうした会を発足していただいたことに感謝します。
- ・ 矢作川流域内で活動されている市民団体や個人の方々と連携を図れる機会と考へます。いろいろな考え方を持って活動されていますが、矢作川の環境を良くしようという意識は同じだと思ひ、良い矢作川の取り組みになることを期待します。特に「合意形成」の取り組みが重要と考へます。
- ・ 事前に根回しで、世話役を決めておいた事。
- ・ 水害のまとめ資料は有益だった（周知させる為に転用予定）。
- ・ 国交省の姿勢。
- ・ 事務局の顔が見えた事。考え方が聞けた事。

## よくなかったと思うこと

- ・ 話しが分りづらかった。
- ・ 時間が短く、十分な交流ができなかったこと。
- ・ 少し時間が足りないように思いました。
- ・ 時間の管理。
- ・ 時間が少なく（説明ばかり）、事前に内容はみんな読んでいるので省いてもいいのではないかと、みんなが矢作川をどの様に見、考えているのか、これからこの会に何を期待しているのかを話し合いたかった。
- ・ グループで意見交換ができなかったこと。
- ・ グループ分けによる討議ができなかった事。
- ・ 設立準備会の検討会議としては、設立の準備の検討がなかった点。
- ・ たくさんの出席者がそれぞれの立場で、活発な意見が言えるが、時間的な制約で十分な議論ができるか、本日の会議を見て思う。
- ・ 意見がその地域の課題に偏ってしまうこと。
- ・ 市民会議の自主運営がうまくいくのか心配になった。課題はそれぞれの立場で意見が対立するものと思われ、これを地域部会へ持ち上げることになるだろうけど、まとめることは不可能なので座長が大変。
- ・ HP 開設等による見える情報集約も一効果と思いますが、これで完了といった感じに取られる説明（説明不足）に思えました。各市民団体や個人の考え方があり、なかなか「合意形成」は困難かと思えます。気苦労が多くなるかと思えますが、思い切った遂行や施策の決定を期待します。
- ・ 行政の前向きな取り組み姿勢に対して、市民サイドの発言が、行政に対する既成概念の枠にとらわれたものになってしまっていたような気がする。このような活動は、行政と市民が運命共同体意識を強く持たなければならないし、市民は偏った考えに固まってしまってはならないと思う。行政になにかやってもらうという期待ではなく、行政と一緒に何ができるかを考え、行動すべきだろう。
- ・ 市民を教育してあげる意識が見え見え。
- ・ 説明者が要点を掻い摘んで説明する努力が不足していた事（リハーサルをしていない事）。



## これからの進め方への提案

- ・ 基本的には事務局の考え方に同意。
- ・ 市民活動として、進められるよう期待しています。
- ・ 事務局を補佐するボランティアが必要ではないか。会報・新聞等の発行で、各団体を順次紹介していく事も連携が深まるのでは。
- ・ 安全はもちろんですが、安全対策だけでなく美しい川をテーマに、その中に安全・自然・歴史・観光のもと進めて下さい。
- ・ 市民の誇れる川づくり、財産としての川づくり、市民の声の届く会にして下さい。
- ・ 懇談会なのか、市民会議なのか不明確でした。
- ・ スタートしてから・・・ボランティアとしては、少し荷が重い(集まることも、時間的にも、より良いものを目指すほど厳しい)。
- ・ 地域別の諸課題、きめ細かい問題も多い。
- ・ 市民からのできるだけ多くの声について、対策を立てることが大切。
- ・ 部会で長時間かけて十分検討した結果を全体会議で発表検討する(特に各団体の活動発表の機会もつくる必要有りと感じました)。
- ・ 市民対国・役所の構図にならないよう、会議に十分な配慮が必要だと思う。
- ・ 市民会議での資料作成や議事録作成など、メンバーに負担がかからない方法。
- ・ 市民会議の議長は、メンバーからの選出でない方がよい。
- ・ 自由に意見を言える時間割。
- ・ やはりビジョンは大切なので、決めていきたいです。
- ・ 参加者の連絡先開示。ただし、一人でも反対者いれば開示不可。
- ・ コミュニケーションツールとしての”ネット”を使いやすいものにする工夫が必要。
- ・ 会場でも発言しましたが、山・川・海の部会が実質的につながることが、活動の成否の重要な所だと思います。技術者としてのこれ迄の経験と知見にたつと、「濁り」「ケイ素(Si)」をキーワードとして上げることができます。山で土が作られ、雨水がその土を流れて川に湧き出し、それが豊かな海を育みます。
- ・ みんなの目標・希望を大きな視点で捉え、その目標に向かって前向きに取り組んでいく事を願っています。それぞれの団体の活動や目標が異なっているので、細かい視点の目標は難しいと思います。例えば「矢作川の目指す景観」「運命共同体の矢作川の目指す川とは」「未来に残したい矢作川ってどんな川」など。
- ・ 参加した各団体には、それぞれの思いがあるだろうし、活動分野も多岐にわたるように思う。ピンポイント指向では難しい場合が多いようにも思う。設立趣旨を前面に出して、将来的な展望を語れる場として発展させたい。

- ・ 河畔を含む河川の環境改善、維持について NPO 法人矢作川森林塾が行っているような活動は、川を愛する気持ちを持った市民にしかできない活動であり、これを行政に期待してはならないと思う。行政はこのような活動をいかにバックアップするかを、市民の声を聞いて考えて欲しい。また、河川改修のような行政が主体の問題については、市民も行政と一緒に意見を出し合い、計画を練り上げていく姿勢が必要だと思う。行政と市民の共同体意識を作り上げていく努力が必要と思う。
- ・ 長期目標は「矢作川流域圏の持続的発展」及び「開発と自然のより良い環境の創造」と思いますが、長い目（10年～50年）で見る必要があると考えます。また私たちの代が変わっても、流域圏懇談会（仮称）が継続でき、意見交流が図れる場を維持できるような仕組みになれば良いかと考えます。今日の懇談会は少しの時間でしたが、矢作川に思い入れのある個人や市民団体の方々の意見は参考になり、意見や問題点の抽出が必要と考えます。

市民会議の参加者紹介

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	応募用紙での記載内容		
	山	川	海			応募の動機	思いと課題	活動歴
個人				小川 明	愛知県豊田市	4年前から移り住み大変気に入った土地ですので、貴重な自然や歴史を残していきたいと思い応募させていただきました。	大変気に入った土地ですが、高齢化など社会変化で山の手入れができず、帰属があいまいな土地が心配です。	ささやかですが田畑を耕作しつつ山暮らしの奥深さを実感しております。
				畔柳 剛	愛知県岡崎市	歴史ある矢作川をしりたくおもいました	あまりよくはわかりませんが、今後、深めていきたいと思います。	東京大学大学院愛知演習林 蔵治先生の研究グループに在籍
				篠原 敏典	愛知県刈谷市	所属団体(刈谷市民会報)で薬師川浄化中であるが、限られたメンバーの活動に終わっており市民に広がらない。その為、監視が不十分で不法な排水を行う、流域企業の監視や客観的なデータの採取ができず、不法行為を阻止できていない。これを何とかしたい。	思い:子洪や孫にとって故郷となる刈谷の川そして三河湾をかつての50、60年代のような安心して遊び、泳げる環境に戻してあげたい。 課題:かなりヘドロが減ったが、流域企業や一般市民の理解が不足しており、不法な排水が絶えない。	所属団体(刈谷市民会議)で薬師川浄化中
				菅原 正	愛知県岡崎市	岡崎市の広報で知り、興味が湧き参加したいと思ったため。	近年ダムによる水質調整ができ、大水の災害が幸いにして少なくなってきた。その反面河川敷内の樹木は大きく生長し、大木化しつつある。だが河川雨水の水路である為、障害物がないことが理想で、竹林、雑木林の撤去が必要と思います。	空手道の指導
				田中 一弘	愛知県西尾市	「海と川のクリーン作戦」で除去作業を除外している「不法投棄による流出で、河口ヨシ原に滞留するゴミ」の処理法?	矢作川と三河湾の浄化が生物の多様化を図ることは明白で、西三河だけでも100を超す多くのボランティア団体が活動していると聞く。団体の活動費用(浄化費用)の負担。	

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	応募用紙での記載内容		
	山	川	海			応募の動機	思いと課題	活動歴
個人				丹羽 八十	愛知県 豊田市	昨年 7 月から矢作川右岸モニターを担当させていただき、関心がある為	川上から川下、さらに沿岸海域の地域住民が共通認識を見つけ、課題に取り組むコミュニティ作りは意義ある事。 将来にわたって矢作川の豊富な水量の利用率向上と上流水質を下流域まで確保させる工夫が喫緊の課題。	昨年 7 月から矢作川右岸（籠川合流点～水源橋）モニターを担当
				長谷 輝夫	愛知県 西尾市	動植物の生育・生育環境の保全再生。良好な水質の維持、上下流交流。河川利用。河川整備の促進・充実	7 と同義課題	上下流交流
				本多 秀行	愛知県 岡崎市	日本一の河川をつくりたい。日本川百選の一位にしたい。	川は人が育った源点です。この財産であり全ての源点を生かせば町はよくなります。生物多様性の名のもとに外来種や雑木などではよくありません。じまんのできる誇りに思える川を作る事、市民の心のやすらぎの場所をつくらなくてはなりません。生物に配慮した景観をつくるのが大切です。桜並木とサイクリングコースを作ってください！	乙川での草取りをしています。

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
Bio de Bio				黒田 武儀	愛知県 新城市	平成 21年 8月 13日		<p>「農と食」、「山村と都市との連携」、「山の役割」、「水の役割」、「山と海の連携」、「自然な素材」、「自然体験」、「自然な暮らし」、「芸術、文化」、「生命と健康」、「季節行事と生活習慣」、「高齢者、障害者、地域市民との交流」、「過疎化、高齢化、少子化対策」、「国際交流」などに関する事業を行い、環境の時代の21世紀の「子育て」「親育て」「ひと育て」「地域育て」を通して、山里に生きることの意味を問い、そこの日常の暮らしのありかたを考え、実践の体験を通して、持続可能な循環する暮らしを体感し、体得し、生態系豊かな循環する地域社会を実現することを目的とする。(公開講座、茶摘み体験、田んぼの生き物調査、山林再生プロジェクト等)</p> <p>【団体HP】 <a href="http://biodebio.jp.org/">http://biodebio.jp.org/</a></p>	<p>私たちの毎日の暮らしは、水や空気や食べもので支えられています。地球上の水の中のごく一部分でしかない真水の、その僅かな一部を利用できるにすぎない水も、きれいな空気も、豊かな土壌も、みんな山の恵みです。その山と、里と都市と海は、流域圏を形成しながら、川で結ばれています。</p> <p>今回の、矢作川流域圏を、ひとつの有機的に結合した地域共同体としてとらえ、矢作川のありかたを問うことによって、総合的に地域社会の未来像を描こうとする試みは、21世紀の新しい時代像を描く上で、大きな可能性を持つものとして、高い評価を与えていいと感じています。</p> <p>山の源流部に拠点を置くNPO BIO de BIOとして、また、山が私たちの暮らしの原点だとする、新しい時代を拓くライフスタイルNPOとして、さまざまな立場の、多くの</p>	<p>矢作川は、豊川と並んで、三河湾に注ぐ大河川です。長野県や岐阜県の一部を含む広い範囲の山林を源流に、かつては主要な農産地域を形成しながら、現在では世界を代表するような工業都市群や、市民生活の拠点となる都市群を育み、三河湾に注いでいます。</p> <p>矢作川流域圏の未来像を描ききることは、日本だけでなく、世界の河川流域国の問題を考察し、展望する上で、非常に大きな示唆を与えるものと思います。源流地域から海に至る諸地域に存在する諸問題を、個別に分断して、場当たりの対応を図るのではなく、総合的に、有機的に、また長期的視点と世界的視野に立って、問題解決を図る手法そのものが、新しい拭みとして、広く世界に大きな示唆を与えようものと考えています。河川の再生を論じるときも、指標となるべき生物や景</p>	<p>愛知県三河地域だけでなく、岐阜県内でも、「都市化が進む地域に残された里山を、自然植生の回復を図りながら、都市市民の関心を深めることにより、市民自身の手で保全が進むよう配慮しながら再生する」事業を継続している。</p> <p>放置された人工林を自然植生を軸にした多相林化を図るとともに、多彩で多様な山の恵みを、日常の暮らしに、回復し活用する事業を開始している。</p> <p>源流地域の山中の沢筋に放</p>

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
									<p>みなさんと、山と里と都市と海との有機的で持続的な連携と結合を、生物多様性をキーワードに考えてみたいと考えてみたいと思います。</p> <p>とりわけ、高齢化に加えて、過疎化と少子化に苦悩する源流地域で、山や沢、森林や原野、池沼や河川の保全を日常の営みとする担い手(=「百姓」「単なる農業者」)の、著しい高齢化と減少は、既に現在でも大きな社会問題であるにもかかわらず、何らの対策も講じられないまま、さらに問題を深刻化させています。</p> <p>自然環境に恵まれた、生物多様性豊かな、希望と夢のある流域圏づくりのために、何よりもまず解決に向かうべき課題だと考えています。</p>	<p>観を多相的に考察することにより、「柔らかな河川流域環境」を創出することになるであろうと想像しています。</p> <p>それはかつて私たちが口ずさんだ「春のうららの隅田川」であり、「春の小川」であるだろうとも想像します。河川や流域圏地域を、またその再生を、エネルギーの視点からも、廃棄物の視点からも、資源の視点からも、生物多様性の視点からも、総合的に、有機的に、再構築する試みが進むことを期待しています。</p>	<p>棄されたままのちいさな棚田を、再生回復して、農地を回復すると共に、山林の保全を図り、多相林化を図って、保水力と水源涵養力を高め、水質改善、水量確保、土壌資源確保、山林資源の多彩な活用、市民との交流に生かす事業を開始している。</p>

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
アド清流愛護会				倉地 格	愛知県 豊田市	平成 8 年 4 月 1 日	25 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢作川及び籠川合流点の水辺公園の清掃等愛護活動</li> <li>・ 平戸橋地域の歴史案内</li> </ul> 主な活動内容は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢作川からゴミを無くして、清流をとりもどそうを 合言葉に水辺公園の管理と公園造りを主活動として行っている。</li> <li>・ 水辺公園利用者(バーベキュー等)のマナーの指導を行い「川に子供の姿と声を求めて」が最大の目標です。</li> <li>・ 平戸橋を中心とした矢作川にかかわる近代史調査、ガイドブックの発刊、史跡案内、歴史講座を行っている。</li> </ul>			
伊勢・三河湾流域ネットワーク				辻 淳夫 井上祥一郎 高山 進	愛知県 名古屋市	平成 17 年 1 月		伊勢・三河湾流域ネットワークは、市民の視点を中心において伊勢・三河湾流域の「保全」と「再生」につながる提案とその活動推進を図り、豊かな海とその流域の「自然と暮らし」を市民の手に取り戻すことを目的とします。 その提案活動を市民、行政、研究者、企業の協働事業化によって実現を目指します。  【団体 HP】 <a href="http://www.isemikawa.net/">http://www.isemikawa.net/</a>	設立の趣旨に合致しているため。 すなわち、山川里海の連携を、民学官産の協働で実現しようという会の設立趣旨に合った呼びかけであったから		

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
奥矢作森林塾				大島 光利	岐阜県恵那市	平成18年 4月18日			森林再生、水質保全、矢作川流域及び都市との交流促進」を基本理念に活動を行っており、参加の皆様方のご意見をお聞きしたく、矢作川流域圏懇談会に参加を希望しました。		
乙川を美しくする会				柴田 辰夫	愛知県岡崎市	昭和48年 1月27日	15,294名	乙川およびその支流を美しくするため、地域の住民および本会の趣旨に賛同するものが一体となって市民運動を展開し、自然環境の保全をはかることを目的とする。 主な活動内容 ・ 河川愛護（草刈、清掃） ・ 河川監視（パトロール、宣伝広報） ・ 美化看板の設置	情報収集のため。	流域住民の連帯感を高め、公德心を培い、川の清い流れを失うことのないよう積極的に住民運動を展開する。	事業推進会議、環境保全監視活動、環境美化啓発活動（河川美化看板の設置、宣伝車による河川美化の広報宣伝）、環境整備活動（地域・町内会ごとに実施）
上矢作ダム問題連絡協議会				畑村 眞吾							



団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
上矢作町自治連合会				菱川 和之	岐阜県恵那市			本会の目的は、市行政と地域住民との連絡提携を図り、連帯の高揚と明るく住みよい郷土をつくること	矢作川の上流域として、連携を考え自然環境をよりよくなるために意見交換をしたい。	清流を守るために息長く活動していきたい。	
加茂川を美しくする会				吉田 武房	愛知県豊田市	昭和 48 年	17,000 名			水量不足、上流より流れてくるゴミが多い	矢作川支流（加茂川）の草刈、ゴミ拾い、彼岸花等の植付、寺部小学校児童の希望者と一緒に活動している（毎月 1 回）

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
中部森林開発研究会				梅村 正裕	愛知県 豊田市	昭和 58年 4月	14支部 130社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の林業の活性化をはかるため、若手後継者の育成をめざす</li> <li>・当研究会は地域の生態系の回復を目指し、水と緑の環境作りをテーマに「ウッドチップリサイクルシステム」を提案しています</li> </ul> <p>【団体 HP】 <a href="http://www.szken.co.jp/chushinken.html">http://www.szken.co.jp/chushinken.html</a></p>	流域は運命共同体「矢作川流域圏懇談会」設立趣旨に賛同して。	高度経済成長期 40 数年前の白い川矢作川から今、多くの人々の努力で清流がもどり流域の人々は潤いのある安全安心して生活しているこの矢作川を次の世代へ継承してゆきたいと強く願う。	中部森林開発研究会は創立 28 年目を迎え、「森林を通じての環境保全」をめざし、矢作川沿岸水質保全対策協議会故内藤氏の指導のもと、流域の開発工事から発生する樹木廃棄物を 100% 資源とし、造成工事現場から発生する濁水を竹を使った濁水対策工法を研究開発し実践しています。現在は矢作川流域の多くの工事現場で実践しています。
鳥川ホタル保存会				今泉 清	愛知県 岡崎市	平成6年 5月1日	60名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタル保護活動を介して、環境保全と意識の高揚を図る。</li> </ul>	ホタル保護活動は、水環境の保全と密接な結びつきがあるため	矢作川は岡崎地域にとって重要な河川であり、すばらしい河川であることを願っている。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ホタルを原点とした水環境の保全活動</li> <li>2.「平成の名水百選」の維持管理</li> </ol>

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
豊田市自然愛護協会				光岡 金光	愛知県豊田市		500人	豊田市の貴重な動植物、地質等の保護及び愛護を図り、併せて自然愛護思想の普及に努める活動を進めている。	平成 22 年度から会長になりました。矢作川は豊田市にとっても重要な河川です。その価値をいっそう高めるための今後の展望に接したいと思いました。	豊田市の住民にとっても、まさに母なる川です。いっそう親しみのもてる河川に発展してほしいと思う。	豊田市淡水魚類研究会、天然アユ調査会などの所属団体もあり動植等の研究団体とも情報交換を行っています。
豊田市親王町自治会				市川 俊策	愛知県豊田市			河川の倒竹の整理	矢作川流域に居住している個人、又団体であるから。  足助地域を流れる清流、巴川、足助川は全国的に知名度がある目玉であるから、又景観形成にも大。	【思い】 矢作川上流圏にあって、下流域の地域、又三河湾まで過大な影響が大きい。そして未来永劫まで清流であって人々を楽しませる思い。 【課題】 大雨（台風）の時に山の断面が崩れる。  沢の土石流が怖い。	・川掃除、河岸部の倒竹の伐採、整理による景観整備。 ・EM菌の投入による水質改善 河川の大腸菌の減少が水質検査で確認される

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
西三河野鳥の会								<p>本会は野鳥に関するすべての愛好家を以って組織し、会員相互の親睦を図ると共に、会員の野鳥に関する知識を深め、併せて愛護思想の普及に努めています。</p> <p>【団体 HP】  <a href="http://nbird.nhki.net/study-report.html">http://nbird.nhki.net/study-report.html</a></p>	<p>当会は1970年代より矢作川流域の全域と沿岸部の野鳥及びその他の野生生物の観察を行ってきた。この知見を矢作川の河川行政に活かしたい。</p>	<p>流域の環境変化が野鳥、人へどのような影響を与えるか。</p>	<p>上流、中流、下流域で野鳥の観察</p> <p>野鳥及び野生生物の観察活動</p> <p>行政や企業への環境保全提言活動</p>
早川をよみがえらせる会				篠原 正樹	愛知県岡崎市	平成16年4月29日	25名	<p>有用微生物群（EM）の利用を中心とした、早川の水質浄化。</p>	<p>情報交換ができればよいし、お誘いをいただいたので。</p>	<p>子どもが外で遊ばないと嘆くのではなく、遊びたくなる水辺環境を我々の手でとりもどしてやりたい。</p>	<p>岡崎市で最も汚染のひどかった早川に対し、EMによる浄化活動を試みた。（愛・地球博での発表の実例作りとして）初年度から大量のオイカワがやって来るなど生物の量・種類とも増え続けているが、昨年は天然アユが大量にやって来た。</p>
三河湾浄化市民塾				榊原 和久							

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
水と緑を守る会・岡崎				沖 章枝	愛知県岡崎市				<p>NGO の当会を立ち上げてから19年経ちました。次世代にむけより良い環境を保全したいと考えています。期間はそれなりに費やしてきましたが、実施できたことは小さいです。ささやかな行為も熱く矢作川につながっていることをお伝えできたらと考えました。</p>	<p>矢作川は木曾川・豊川と並んで愛知県の母なる川です。意識するにしても意識しないでも誰もが恩を受けています。しかし川を取り巻く環境は良好とはいえません。水源地である上流部の森林の問題。大小たくさんある支流の森林・山の田の耕作放棄や水質と水量の問題など課題は多いです。</p>	<p>1993年1月～2002年、水源地(乙川支流)のゴルフ場開発に伴う水質汚染問題とゲンジボタルの生息地の保全。7年間程電気伝導計による測定を続けました。</p> <p>2000年4月～現在、矢作川河川敷のゴミ拾い、年1回。日名橋～岡崎大橋(左岸)。</p> <p>男川支流、蓬生川、古部川地域の耕作放棄田の復元活動と生態系保持を目的とした古代米づくり。</p>

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
森を再生する会				神谷 輝幸	愛知県安城市	平成15年 12月3日 (法人認証年月日)		矢作川・豊川流域住民に対して、委託又は購入した山林を、間伐・植林による林層転換に関する事業を行い、山の治山・治水、緑のダム・水源の森づくり、都市住民・農家の水確保、三河湾の浄化に寄与することを目的とする。  【団体 HP】 <a href="http://www.katch.ne.jp/~kamiyaf18/">http://www.katch.ne.jp/~kamiyaf18/</a>	流域住民でつくる森づくりの活動をしているから	矢作川保全のために「矢水協」がせつりつされたように、行政の単位でなく流域全体の連携を一層推進することが必要	間伐、植林、下草刈りを行い、生態系豊かな水源の森づくりを行っている。
家下川を美しくする会				澤田 明巳	愛知県岡崎市	平成 18年3月 18日	男性 34名 女性 2名 合計 36名	教育の場づくり 子供のための安心安全な水辺空間づくり 環境づくり 家下の遊歩道確保、美化、水辺の土壌、水質浄化、清掃 まちづくり 地域、企業、学校、市行政、県行政との連携  【団体 HP】 <a href="http://toyota-shiminkatsudo.net/gnkt06/mypage/mypage_group_info.php?gid=G0000509">http://toyota-shiminkatsudo.net/gnkt06/mypage/mypage_group_info.php?gid=G0000509</a>	他団体の利用の参考	景観の成形維持の課題と住民の散策施設としての多くの利用を図る思い	河川内敷地の竹切り、藁刈りと美化

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作川「川会議」 (豊田市矢作川研究所)				碓 さくら	愛知県豊田市	平成13年5月	500名	矢作川流域の自然保全活動を続けている諸団体ならびに関係機関が協働し、これからの活動のあり方を話し合い「森～川～海」の健全な水循環を目指して共通認識を図り、矢作川流域の良好な河川空間の保全、復元に寄与することを目的とする。	矢作川を山から海までしっかりとりえ、矢作川の問題として、様々な団体と目標をもって考えていきたい。	毎年、諸団体と1つの目標・課題(理想の川の景観)(次世代に続く川づくり)(いい川とは)(市民が描く矢作川)を持って考え、ビジョンを作る。	設立から毎年、5月(矢作川の日)に矢作川「川会議」を開催。矢作川宣言の推進、西の浜クリーンアップ活動(亀の子隊)「川の日」ワークショップなど諸団体との交流
矢作川学校 (豊田市矢作川研究所)				柴田 一美	愛知県豊田市	平成14年5月		矢作川流域で暮らす人々は、長い歴史の中で川から多くの恵みを受けながら豊かな自然と文化を育んできました。矢作川学校は身近な自然に関心を寄せ、遊びの体験を通して、川や里山の自然や文化を守るとともに、それらを次世代に継承する子どもを育成する。  【団体HP】 <a href="http://yahagi-ayu.net/yhg_school/yhg_school.html">http://yahagi-ayu.net/yhg_school/yhg_school.html</a>	子どもたちが日頃から矢作川の自然にふれあえる川づくりに関わりたい。	子どもの声が聞こえる矢作川であるための場所と組織づくり。	小中学校の総合学習、コミュニティーの自然環境学習や生き物観察会などへの講師の派遣や、自然の楽しさを知り、生き物とふれあうイベントを開催している。

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作川環境技術研究会				佐川 匡	名古屋市				小研究会は、20年以上、矢作川流域及び周辺での建設工事等で水環境保全のための仮設防災・汚濁防止対策、地域生活環境への配慮の研究と実線を展開しています。この活動が流域の各主体とより連携することによる相乗効果を考えて応募しました。	私たちの流域を流れる水は生き物や人々の生活を健全に支える重要な資源です。流域社会が持続して発展するためには、土地利用や人の諸活動において、自然と人のつながりを考えて水環境を大切に育てる配慮や工夫が多く求められます。多様な生態系と水利用が際立つ矢作川流域圏では流域の保全と共生を目指した施工が引き続き課題と考えています。	別紙の通りです。 ( 詳細 URL : <a href="http://www.yakanken.jp">http://www.yakanken.jp</a> )
矢作川源流の森ねば				三浦 利一	長野県下伊那郡根羽村	平成 16 年 1 月 30 日	18 名	根羽村の森林整備、森林利用、森林、環境等の啓蒙普及、森林に関連した地域の活性化に寄与することを目的とする。	矢作川の源流の地として、下流域の皆様との交流を深め、共に環境保全に力を入れたいから。		



団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作川森林塾				碓 伸夫	愛知県豊田市			都市部の河畔林の整備  【団体 HP】 <a href="http://shinrinj.enat.jp/">http://shinrinj.enat.jp/</a>	都市部の河畔林の整備を行い、風景と環境の良い都市河川をめざす活動を行っているため。	矢作川を風景と環境のモデル河川にしたい	豊田市「間伐材利用プロジェクト」委員長 間伐ボランティア「小原こびまの会」会員 矢作川漁協森林塾委員長
矢作川水系森林ボランティア協議会(矢森協)				丹羽 健司	愛知県名古屋市	平成14年1月18日	12団体 約240名	間伐などの山仕事を通じて森林の再生に取り組む。  【団体 HP】 <a href="http://www.yamorikyoku.com/">http://www.yamorikyoku.com/</a>	“流域は一つ、運命共同体”の考えから、山村・森林活性化を目指している。	流域全体の活性化/「森の健康診断」の全国展開事業	森林ボランティアと地域との協働モデル林事業 「矢作川森の健康診断」毎年1回実施、6年で約1500人の市民が参加

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作川水族館 (豊田市矢作川研究所内 矢作川学校事務局)					愛知県 豊田市			TRY-a(トライ・エー)は、矢作川水族館の略称であり、矢作川水族館運営チームの名称である。 TRY-aは、水槽のない水族館です。矢作川の面白さを知ったあなたが、水辺に訪れることを喜びとします。 TRY-aは、矢作川を愛する素人集団です。および支流の生息魚類を深く知るための独自の活動をし、魚の視線で川の環境を考えます。  【団体HP】 <a href="http://www.yahagi-aqua.com/">http://www.yahagi-aqua.com/</a>	矢作川に生息する魚類のことを広く伝えたいため。	魚類にとって棲みにくいところがたくさんある川なので、少しでも良くなってほしい。	ホームページ上にネット水族館を開設。アメリカナマズ調査。豊田市畝部地区でメダカの生息場所の再生活動を実施。その他、イベントで矢作川の魚の展示。
矢作川治水史研究会				小澤 祐治	愛知県 豊橋市				当研究会の成果を生かす場となるのではと思った。	長年河川行政に携わってきた経験から矢作川の今後について日頃から関心があり、有志で当研究会を立ち上げ、忘れ去られた過去の災害記録の掘り起こしを通じて治水上の課題を整理分析し、地域住民等に災害に備える啓発活動ができたらと考えている。	平成19年秋から活動を開始し、矢作川の過去の災害記録などの文献・資料の収集や河川の現状記録写真(季節・経年変化など)の撮影を実施中。

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作川天然アユ調査会				宮田 昌和	愛知県豊田市	平成8年9月	70名	矢作川ではアユが釣れなくなっているため、この原因を探り、天然のアユが豊富に釣れる矢作川の復活させようと考えています。そのため豊田市矢作川研究所と共に、アユの一生について生態調査を行っています。  【団体HP】 <a href="http://ayu-chosa.net/">http://ayu-chosa.net/</a>	矢作川の環境を知り、天然アユ復活のため環境づくりに寄与したい。	会員が「市民研究者」という高い意識を持ち、天然アユの研究を通して矢作川の環境保全を迫る。	四季を通じた矢作川と三河湾での生態調査やその成果を市民に公表するシンポジウムの開催。
矢作川をきれいにする会				鈴木 陽子	愛知県幡豆郡一色町			矢作川の環境保全活動  【団体HP】 <a href="http://www.fujiclean.co.jp/fujiclean/story/vol48/part202.html">http://www.fujiclean.co.jp/fujiclean/story/vol48/part202.html</a>	流域圏における同じ目的の諸団体との交流	高度経済成長の乱開発の時代から現在にかけて、水質保全活動をしている愛され親しまれる豊かな清流「母なる川」矢作川をめざして活動を続ける	S46年から会の活動が始まり、ゴルフ場開発現場に指導へ行ったり、工場の未処理施設を監視に行くなど、他にも天然石けんを作り啓発活動や小中学生への環境学習など。
矢作水源フォレストランド協議会				荒田 雅晴							

団体名	地域部会			代表者	主な所在地	設立年	会員数	活動目的	応募用紙での記載内容		
	山	川	海						応募の動機	思いと課題	活動歴
矢作古川を美しくする会				市川 栄一				堤防、河川敷、水辺の美化活動	ふるさとの川である矢作川について、子供の頃に親しんだ思い出があるので、この川を今後も美しい姿にしていきたいから。		

